昭和26年12月４日　第３種郵便物認可　　令和８年11月10日 発行 第76巻 第11号　　毎月１回10日発行

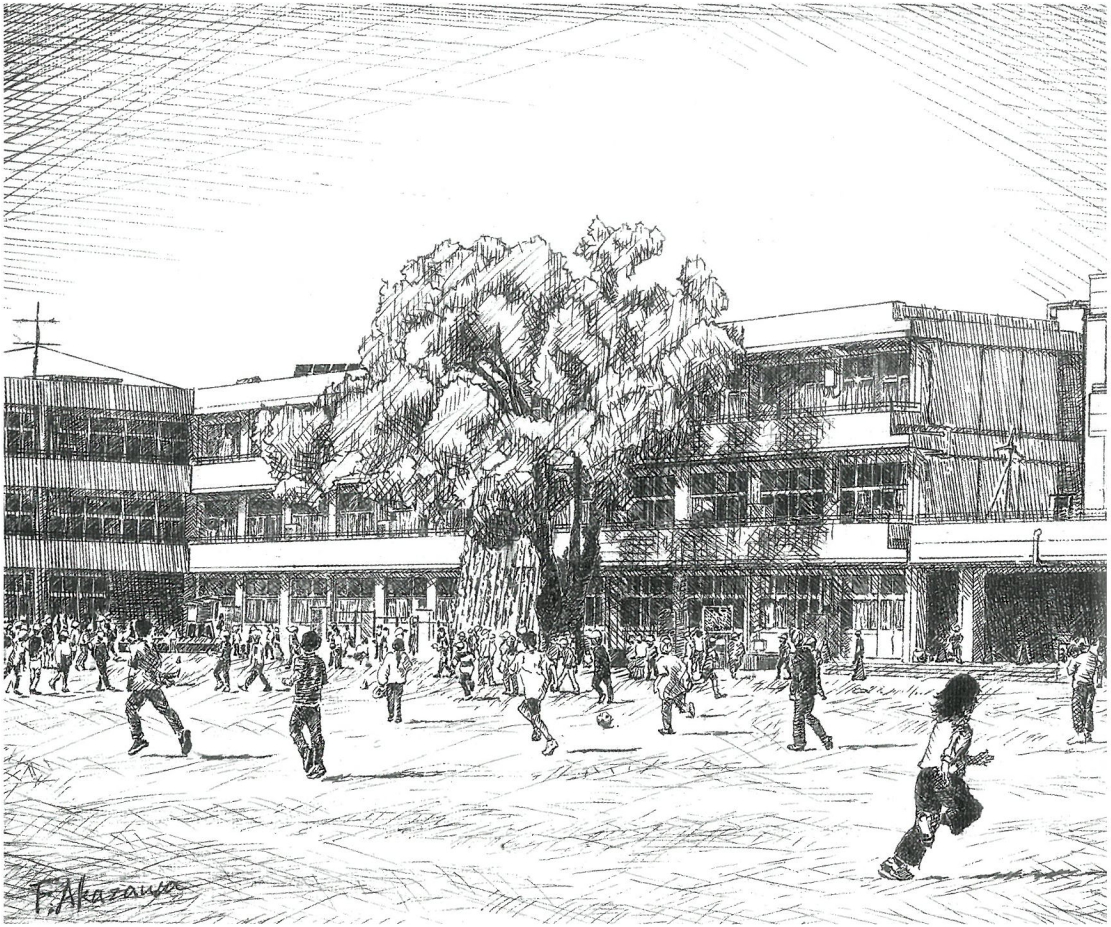
小学校時報 11

令和8年(2026年) NO.903

全連小
ホームページ

●特　集　　業務改善と教員の資質向上
―効果的なICTの利活用―

■教育論壇　信州大学 学術研究院教育学系 准教授　佐藤　和紀



全国連合小学校長会 機関誌

この人



問いを受け継ぐ

有限会社 木阪賞文堂
代表取締役 木阪（きさか） 泰之（やすゆき）

プロフィール〈略歴〉

一九六二年　山口県柳井市生まれ
一九八六年　関西大学商学部卒業
一九九一年　有限会社 木阪賞文堂入社
二〇〇一年　同社　代表取締役　就任
〈公職〉
・柳井市白壁の町並みを守る会会長（二〇二〇年四月～）
・柳井市観光協会 会長（二〇二一年五月～）
・山口県教育委員（二〇二一年一〇月～）
〈受賞歴等〉
・環境ISO14001 認証取得（二〇〇三年）
・中国地方の歴史ある中小企業選（中国経済産業局）に選定（二〇〇七年）
・経営革新計画企業承認（二〇〇三年、二〇一四年）
・柳井市地域ブランド認証（二〇一二年～）
・柳井市一〇〇年企業表彰（二〇一八年）
・ひろしまグッドデザイン賞受賞（二〇二一年）

私の人生を大きく変えたのは、父から届いた一通の手紙でした。三十数年前、私は関東の生命保険会社に勤めていました。

「今の会社にいるのも良いだろう。ただ、戻ってくる気がないのであれば、私は廃業するつもりだ。」「家業を継げ」とはありません。人生と商売に真剣に向き合ってきた父からの問いでした。ならば私も真剣に応えなければならない。その二年後、柳井に戻り、明治二十七年創業の文具屋を継ぎました。

ところが現実は甘くありません。「労多くして益なし」。サラリーマン時代の自信も、商売の現場では通用しませんでした。品揃えを増やし、新しいことにも手を出す。それでも成果が出ない。十年以上、霧の中をさまよいました。

そこで出会ったのが「ランチェスター経営」でした。小さな会社には小さな会社の戦い方がある。限られた力だからこそ絞り、自分たちらしい一番をつくる。私は小さな文具屋なのに「強者の戦い方」をしていたのです。

（イギリスの工学者フレデリック・ランチェスターが唱えた経営戦略）

以来、「何が足りないか」より「自分たちには何があるか」を考え、「やらないこと」を決めました。立ち位置が見えると商売が楽しくなり、従

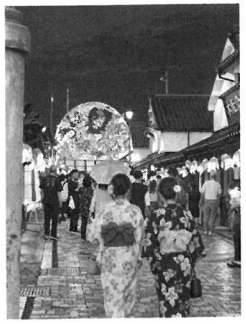
この道

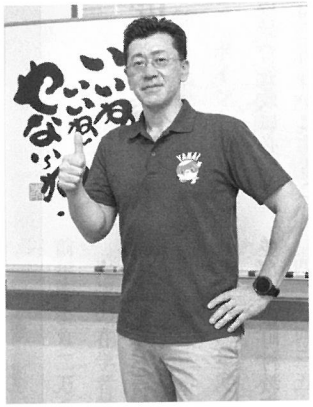
〈私の座右の銘〉
「ふかく・せまく・らしく」

あれもこれもと追い掛けず、まず足元を深く掘る。小さいからこそやることを絞り、自分たちらしさを磨く。その先に誰にもまねできない「一番」が生まれる。意識して「一番」を創る。私なりのランチェスター経営です。



地域を拓く白壁本店





合言葉は「いいね！ いいね！ やない～ね！」

第35回柳井金魚ちょうちん祭り。柳井金魚ちょうちんのルーツは、弘前の金魚ねぷた。7年間の交流を経て今夏、本場・弘前ねぷたが柳井へ。時と地域を越えて、文化が再び繋がりました

業員さんたちの笑顔も増えました。

現在、掲げるのは「つくれる文具屋さん」。小さな店の強みを磨き、ご当地文具も制作。その視線は金魚ちょうちん、白壁の町並み、観光、若い世代との地域探究へも広がりました。

その後、ぶつかり合いながらも並走した父が亡くなりました。法事を終えた日、仏間で家族四人、世間話をする中、初めて子どもたちにあの手紙の話をしました。そして「私が五十八歳になっても後継者が決まらなければ、全国から文具好きで文具店経営に興味のある人を募集してもいい」と話しました。「継いでほしい」とは言いませんでした。

数年後、長男は千葉県から柳井へ戻り、私と働いています。当時も大変でした。しかし人口減少、少子化が進む今は、その比ではありません。だからこそ「弱者の戦略」を深める。残すべきものは残す。変えるべきものは変える。次の時代を生きる人が、自分なりの答えを出せる余白も残しておく。

父から私へ。そして、私から次の世代へ。

「人は、答えを受け継ぐのではなく、問いを受け継いでいく」

父からの一通の手紙を思い出しながら、そんなことを考えています。

小学校時報　11月号もくじ

▨巻頭言　「共有・協働・共創」で拓く学校の未来 ……全連小常任理事　玉井 知津江　2
▨教育論壇　業務改善で生み出した時間を資質向上へ
—校務DXを目指した生成AIの活用—
……信州大学 学術研究院教育学系 准教授　佐藤　和紀　4
▨年間共通主題／自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る
日本人の育成を目指す小学校教育の推進
業務改善と教員の資質向上
——効果的なICTの利活用——
効果的なICT・生成AI活用が導く学校DXと教師の専門性
—管理職のリーダーシップと「学びと研修の相似形」の視点から—
……福岡県福岡市立南片江小学校長　酒井 美佐緒　10
GIGAスクール構想　第二期の充実に向けて
—自走できる教職員集団の育成を通して—
……埼玉県鴻巣市立鴻巣中央小学校長　若林　朋子　15
自ら学び、共に伝え合い、考えを深め合える子ども
—遠隔教育でつなぐ学びの創造—
……長野県上田市立浦里小学校長　藤森　東　20
【会員の声】　業務改善と教員の資質向上
—効果的なICTの利活用—　……　25
▨プロフェッショナルシリーズ／この道この人　問いを受け継ぐ
……有限会社 木阪賞文堂　代表取締役　木阪　泰之　32
教育ニュース／令和8年度 学校基本調査（速報値）について……　34
本部の動き／第5回常任理事会、第6回常任理事会、第254回理事会 ……　36
各部の動き／広報部・シリーズ等編集委員会だより……　38
各地区校長会の動き／〈九州地区の巻〉
• 第78回九州地区小学校長会研究協議会熊本大会の概況（誌上発表）……　40
• 九州地区各県校長会の動き……　42
学校めぐり／青森県青森市立長島小学校……　46
学校めぐり／鳥取県鳥取市立福部未来学園……　48
経営相談コーナー／「こども性暴力防止法」の施行と学校での対応・対策 ……　50
海外教育事情紹介／第47回海外教育事情視察団　ニュージーランド訪問記……　52
編集後記・今月の活動……　54

今月のことば　「好奇心を守る」 東北大学 未来社会健康デザイン拠点長　永富　良一
表紙絵　「『くすのき』が見守る能登川南小」 滋賀県東近江市立能登川南小学校長　赤沢　文彦
表紙裏カット　福島県伊達市立小国小学校長　齋藤　知宣

令和8年（2026年）　通巻903号



今月のことば

好奇心を守る

東北大学　未来社会健康デザイン拠点長　永富（ながとみ）良一（りょういち）

今まで触れたことのない物、行ったことのない所、初めて見ること、聞くことは好奇心を呼び起こし、行動につながります。乳幼児は好奇心のかたまりです。「新しいこと」は脳の成長の栄養であり、長じてからも好奇心は生きる力の原動力です。

もちろん教育には、自分や周囲の人の心と体を危険から守るために教えるべきことがあります。しかし、過剰な指導は好奇心を奪い、「知りたい」「やってみたい」という気持ちまで抑えてしまうかもしれません。新しいことを話しても何も質問がない時には危険信号です。正しいことを教えながらも、子どもの好奇心を守る教育者でありたいと思います。